



口腔科学を彩る、変える。

歯学部初。授業をしない予備校。

# Teeth ON

歯学部進級 | CBT | 国家試験

# 代表挨拶



「歯医者はコンビニより多い」と揶揄されてから、すでに20年以上が経ちます。そんな中、国家試験の難化、各大学で大量の留学生や退学者が相次ぐ厳しい時代に、私は歯学部に入学しました。実際に入学してみると、進級や教育の厳しさを肌で感じ、入学同期の3分の2は途中でつまずき、中には方向転換した方もいました。しかし、私も含め歯科医師になった同期は皆口を揃えて、「歯医者になって人生が変わった」、「生まれ変わってもまた歯医者になる」と言います。出口は狭き門ですが、歯学部は人生を大きく変えるチャンスが誰にでも平等にあると感じています。勉強も実習も、ゲームやスポーツと同じで、早く始めるほど経験値は上がり、楽しさとやり甲斐を見つけやすくなり、将来像も明確になります。Teeth ONは単なる「勉強を教える予備校」ではなく、自分自身と歯科医療界を彩るためのコミュニティです。在籍する先生方は皆、明るく前向きで、ユーモアにあふれています。未来の歯科医療人に、様々なアイディアと経験を通じて、歯科医師の入口に、そして明るい未来への彩りをお届けすることをお約束します。

代表 小木田 勇馬

## 経歴

花巻東高等学校 卒業  
奥羽大学歯学部 卒業  
岩手医科大学医学部 卒業

## 資格

歯科医師免許  
医師免許  
臨床検査技師免許

## 当校の特徴

### Point 1



#### マンツーマンで 徹底指導

全身医学、基礎医学を得意とする講師が、全科目をフルサポート

### Point 2



#### 指導教材不要で 講師の言葉に全集中

授業時は一つの共有ファイル(OneNote、ワード、グッドノート等)に講師が加筆しますので、ノートを取る、プリントをまとめる必要はございません！

### Point 3



#### 1回あたりの共同演習問題数は 重要問題100問以上!!

受検勉強は質より量！知識の深さよりも、短時間で答えを導き出した回数が本番の成績に直結します。

### Point 4



#### カメラオフの 参加でOK

『顔を出すのは少し抵抗がある』『周りの環境が気になる』という方もご安心ください。カメラはOFFのままで大丈夫です。

### Point 5



#### 教材持ち込みOK

学習の最大化のためには、同じ教材が一番です。  
新規の教材はかえって記憶が定着しません。

## Teeth ONの合格秘訣

### スピード重視

分かっているハズの問題が解けない。  
2択を1つに絞れない

▶国家試験、CBTは範囲が広い。  
大切なことはブレず、手広く

### スピード 重視

### 自分のペースで

自分の味方は自分自身  
▶自分のペースと試験日から逆算して計画

### モチベーション教育

### 多角的指導

勉強は臨床と同じで多角的意見が大切  
▶講師に気軽に連絡。気づいたらすぐ共有

### モチベーション教育

意思のなきところに道は開けず  
▶モチベーションは学びの泉

## 歯科医師国家試験の近年のトレンドは全身医学

医師国家試験と比べて歯科医師国家試験の必修の難易度は高く、あと1点が足りずに落ちてしまうというケースをよく見かけます。そして必修問題は過去類似問題の出題だけでなく、医学部やその他の医療系学部からの出題内容が多い現状にあります。そのため現在の歯学部の教育内容だけでモーラすることが難しくなってきました。Teeth ONは歯科医師国家試験のみならず、他学部の国家試験合格者・その領域に精通した講師が徹底指導できることが他の予備校との違いです。過去問題のスピード演習と多方面のアプローチから、合格安全圏へと導きます。

### 通常コース

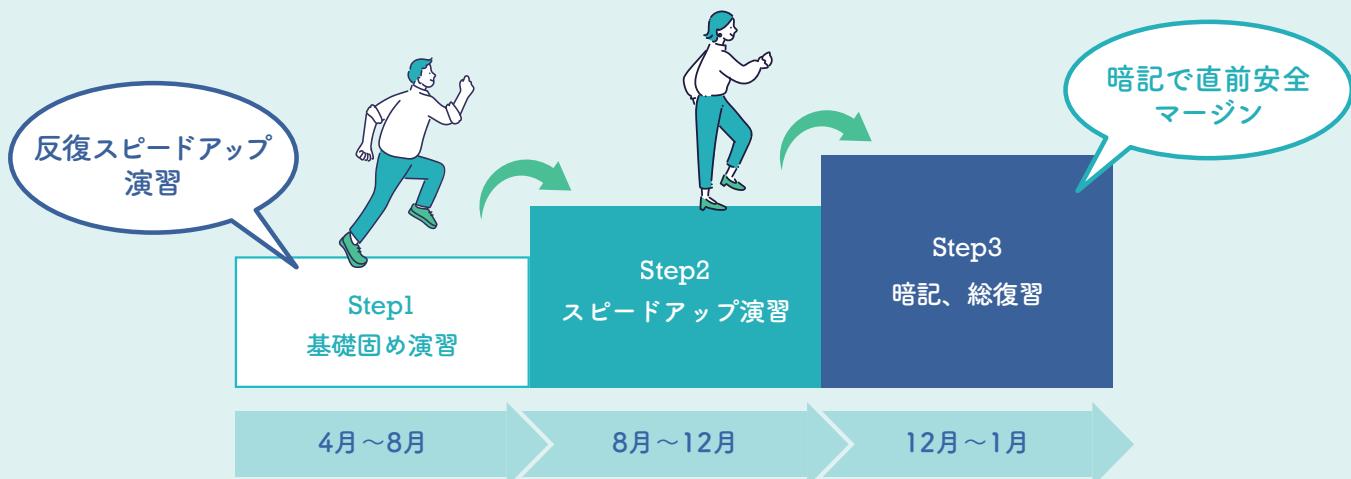
#### 絶対的な安心感で進級試験、CBT、国家試験へ。

進級試験はCBTの土台。CBTは国家試験の土台です。勉強は積み重ねた時間の分だけ後が楽になり、結果が安定します。また、近年のCBT・国家試験はどちらも1年生で履修する内容が出題されますので、スタートが遅ければ巻き返しに時間を取られます。

	コーチングプラン (高学年向け)	ティーチングプラン (低学年向け)	集団セッション* (友人・兄弟と)
コース概要	解らない箇所を徹底解説 	授業形式でスキルを伝授 	他者の疑問を自分の力に 
1回料金(税込)：90分	15,000円～	20,000円～	10,000円～
50回パック料金(税込)：90分	645,000円～	860,000円～	ご相談ください
1回料金と比較した割引料金	1回あたり 12,900円～ 14% OFF	1回あたり 17,200円～ 14% OFF	

\*集団セッションは2名から承ります。※1人でのご参加の場合はご相談ください。

### 歯科医師国家試験、CBT合格までのロードマップ



## 短期コース

直前5回分析講座

パーフェクトゼミ(9月～)

50万円／33回(1回あたり90～120分)

過去5年出題全範囲を網羅し、知識の穴をゼロにする。

実際に本番で出せる力は実力の60%。この効率をいかに上げるかが安全合格のキモです。3か月間集中し、類似問題はスピード回答。患者主訴から導き出すロジックを定着させ、2択で迷わず回答に。

また、記憶の忘却曲線を考えたスケジュールで徹底管理指導。

エビングハウスの忘却曲線



新問演習

全身医学徹底ゼミ(9月～)

30万円～／20回(1回あたり90～120分)

過去5年の医師国家試験問題出題内容から歯科医師国家試験にも重要予想問題作成。

医師国家試験出題基礎医学+衛生の徹底分析で1点が合否を分ける必修を安全ラインに。

また、医師国家試験出題内科、外科、マイナー科目、医学総論から口腔外科、放射線、歯科麻酔科、高齢者

歯科、歯科内科学などに応用し、一般問題、臨床問題の鉄人に。



CBTスピード演習

CBT直前ゼミ(試験3ヶ月前～)

45万円～／30回(1回あたり90分)

歯学部CBTは、医療系のCBTの中でもっとも対策しにくいと言われています。

過去問は非公開であり、既存の参考書も出題傾向に偏り、基礎医学履修範囲が限定的であるためです。

Teeth ONではコアカリキュラムの膨大な範囲から「CBT・国家試験の共通内容」だけを明示し、最短ルートで高い合格基準を突破。出題割合の62%を占める基礎歯学の徹底解説、残り38%を占める臨床科目は解法テクニックだけを徹底指導し、IRT550点以上の合格へと導きます。

コア・カリキュラム大項目	出題割合
A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力	約16.7%
B 社会と歯学	約37.5%
C 生命科学	約8.3%
D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）	約37.5%

出典元：共用試験ガイドブック第23版（令和7年）250905

62%を占める  
基礎医学の  
徹底解説

解法テクニック  
だけを徹底的指導

### このような人におすすめ



国家試験の直前1ヶ月が不安…



CBT、何を始めていいか分からず



放校になってしまい後がない！



歯学部の楽しさが分からず、大学辞めようかな

回数利用で短期集中指導

試験5ヶ月前より受講

基礎医学と多肢選択と連問を徹底的に固め、安心合格ラインに

試験8ヶ月前より受講

卒業試験、国家試験問題を共同演習

週1～2回の指導で  
長期サポート

### Teeth ONでの1日

Teeth ONは学習の最大効率を重視し自分時間を優先させたスケジュール設定。

在学生の場合  
Teeth ON

自習  
大学講義  
フリー

長期休暇中の場合  
Teeth ON

自習  
フリー  
予備校

既卒生の場合

フリー  
自習  
大学講義  
睡眠時間

# なぜ受からない？既卒生、留年生

## 既卒生、留年生の共通点

歯学部で繰り返し覚えられない学生の共通点は一緒です。

局所的な集中

問題演習不足

言語化不足

モチベーション不足

普段の学習、試験の答案で  
一つの分野に集中しすぎて  
しまう

分かったフリで、問題集の  
やり込み不足

問題を理解できていないため、  
違う形式で問われた時に  
対応できない

モチベーション不足

TeethONは受からない、覚えられない原因を徹底分析し、  
歯科医師国家試験直前100日で安全合格ラインへと導きます。

それだけじゃない！生活リズムだけじゃない原因があるかも？



神経



メンタル



身体

面談で体調面に不安なことがあれば、  
Drがいつでも健康相談を実施。

多忙な歯学生への解決策：授業ではなく指導

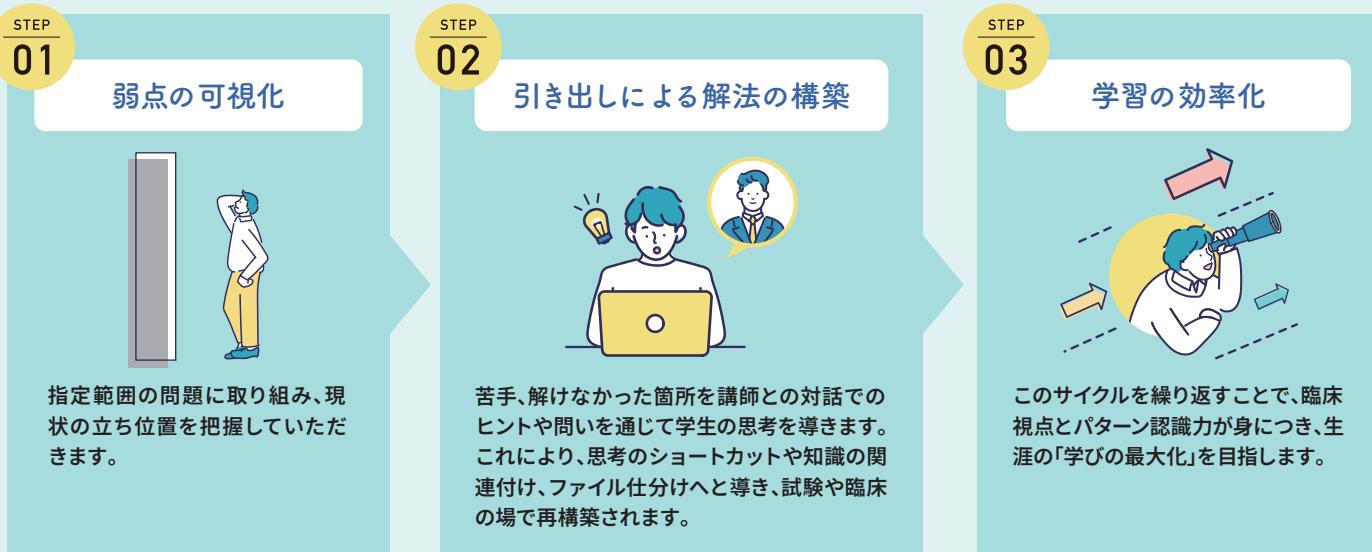


多忙な歯学生が抱える問題（終わらない実習や課題、試験、部活動との両立困難）に対し、従来のインプット中心の授業スケジュールでは、自ら考える「アウトプット」の時間が不足します。歯学部6年間、そして卒後に通う予備校でこれまで同じ授業を何度も聞き、知識は十分に身に付いています。ではなぜ結果に結びつかない？それは眠っている知識を最大化できていない、他人に説明できるようショートカット、記憶の仕分けがされていないからです。「Teeth ON」はティーチング（授業）ではなく、コーチングスタイル（=指導）を提案します。これにより、生徒が主体的に考え、知識を実践的な経験値に変える時間を創出します。

# 指導の特徴

TeethONは、知識を一方的に与える「授業」ではなく、学生の思考を深く掘り下げ、自ら答えにたどり着く力を育む“対話型コーチング”を核にしています。そして私たちは、質問と対話を重ねる中で、学生一人ひとりの中に眠る知識を引き出し、自身を感じられる瞬間へと導きます。学びの延長線上にある、自分だけの将来像に気づき、自らの意思でその道を歩めるよう、最後まで伴走します。

## 知識を試験や臨床で「使える」スキルに変えるための3ステップ



## 具体例

### 118C56

73歳の男性。咀嚼困難を主訴として来院した。3年前に製作した上下顎全部床義歯は安定しているが、食事の際に物が噛みづらくなり、上顎前歯部人工歯の脱離を繰り返していたという。初診時の咬頭嵌合位での顔面写真(別冊No. 19A)、下顎安静位での顔面写真(別冊No. 19B)及び使用中の義歯の写真(別冊No. 19C)を別に示す。咀嚼困難の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 口唇の過豊隆      b 人工歯の咬耗      c 下顎の前方偏位      d 床縁の形態不良      e 白歯部人工歯の水平的排列位置不良

講師 まず、この患者さんの問題点はなんでしょう？

生徒 咀嚼困難と義歯の脱離です。

講師 では、症状の原因は何だと考えますか？

生徒 写真見てもいいですか？

講師 まずは見ないで、では背景から考えてみましょう。

画像は最終診断の補助的要素です。

生徒 普段、義歯は安定しているとのことから、粘膜面ではなく、研磨面・咬合由来だと思います。

講師 いいですね。ではその所見を分析しましょう。咬耗による食事時不安定感は、臨床的に大臼歯と3番が削れているハズです。では写真見て、確定診断をしましょう。

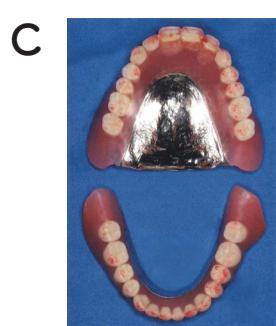
生徒 確かに、大臼歯の当たりは弱く、3番尖頭は削れているような気がします。

講師 ですよね。臨床経験が少ない先生方だと、この所見には気づきにくいです。なので、臨床問題の必勝法は問題文に当たりを付けてから写真を見ることが重要です。では、こちらの患者さんには、何をした方がいいですかね。

生徒 人工歯の交換。もしかすると人工歯配列を修正するのもいいかもしれません。

講師 OKです。では、解答は人工歯の咬耗(B)と、それによって生じる(C)でいいですね！

生徒 入れ歯っていつも画像を先に見ちゃって、分からなくなるんですよね。でも当たりを付けて解いた方が悩む時間が少なく、解きやすいですね！



# 他校との違い

バランスの良さが特徴。Teeth ONの "オールラウンド対策"

	Teeth ON	集団予備校	映像授業
試験・実習対策	○	—	—
復学・再入学試験対策	○	△	—
CBT・国家試験対策	○	◎	◎
就職活動支援	○	◎	—
時間の融通さ	○	△	◎
費用面	○	△	◎

## プロ講師陣によるチームワーク

Teeth ONはメソッドだけでなく、様々な大学出身者で構成された講師によるチームワークで支えられています。画一的ではなく、学生一人ひとりの現状を分析し、完全オーダーメイドの学習プランをチームで設計・提供し、進歩に応じたアップデートで学習が効率化されます。



**Dr. Yamakawa / 山形県出身**

**経歴**  
岩手医科大学歯学部 主席入学  
岩手医科大学歯学部 主席卒業

**資格**  
歯科医師免許

講師の山川です。歯学部は様々な思いを持った方が入学する学部だと思います。地域に寄り添い尽くしたい、医師と同じような目標で働きたい、お金持になりたい、家業を継ぎたいなど、様々なバックグラウンドを抱えている方があります。私自身は自分を変えるチャンスを掴みたいと思って入学しました。大学での学びは非常に奥深く、自分1人の力だけでは目標とするところに届きませんでした。なので、先生・先輩方の意見には常に耳を傾けて臨んでまいりました。次は自分がその頼れる存在として、これまでの知見を生かして指導にあたります。未だ至らぬところもありますが、1人1人の背景に寄り添って指導いたします。



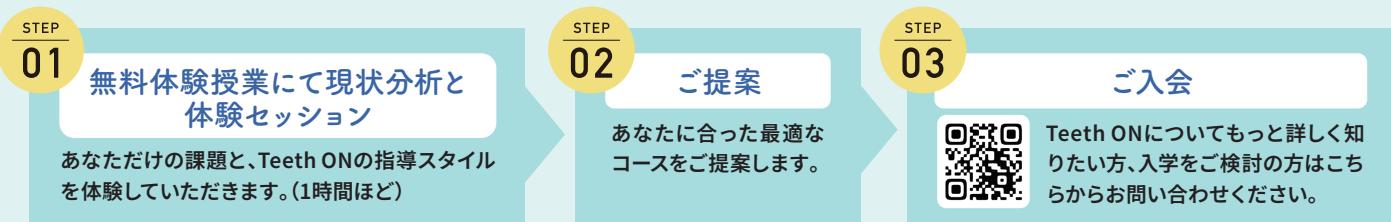
**Dr. Barada / 東京都出身**

**経歴**  
北海道医療大学 卒業  
成績優秀賞

**資格**  
歯科医師免許

講師の茨田です。私は東京で生まれ、大学時代は北海道で学んできました。進学のきっかけは、決して「100%の熱意」から始まったわけではありません。むしろ入学してから歯学の奥深さに気づき、その魅力にめり込んでいったタイプです。最初は思うようにやる気が出ず、成績に悩んだこともあります。しかし、学びを重ねる中で「口腔」という臓器が人生の始まりから終わりまで関わる大切な存在であることを知り、勉強に対する意識が大きく変わりました。その経験から、「やるべき時は今」ということを理解しつつも、人によってスイッチが入る時期は違うということを実感しています。だからこそ私は、生徒一人ひとりに寄り添いながら、そのスイッチを少しでも早く入れるように指導を心がけています。苦手意識を持っている生徒にも親身になり、自分の経験を活かして「学ぶことの楽しさ」を伝えていきたいと考えています。

## 入会までの流れ



## 入会後の流れ

